

共済の今日と未来を考える兵庫懇話会

— 結成6周年第7回総会講演会のご案内 —

<講演テーマ>

『TPPと共済規制』

— なぜアメリカは日本の保険・共済を狙うのか —

<講師> ジャーナリスト **東谷 暁 氏**

日時: **6月27日(木)午後6時~**

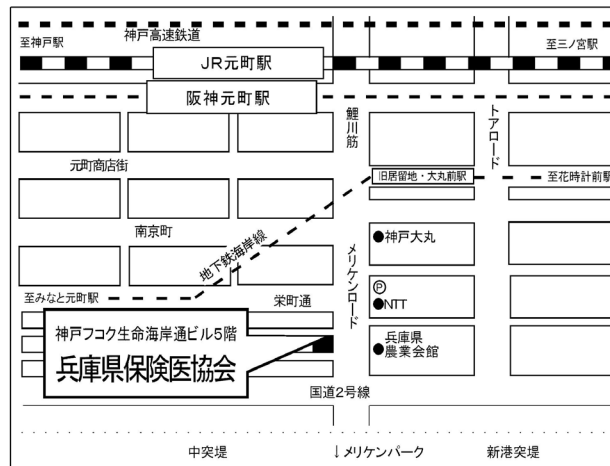
※午後6時30分まで懇話会総会議事を予定しています。

会場: **保険医協会会議室**

神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎ 078-393-1805 (神戸大丸南へ徒歩3分)

日本はいまTPP交渉が始まる前から、保険サービス市場の開放を米国政府に強く求められ妥協を余儀なくされている。なぜ、米国はそこまで日本の保険・共済市場にこだわるのかといえば、実はTPPを強く推進しているのは、政治力が強い全米サービス業連合会(CSI)などの米保険業圧力団体が控えているからだ。TPPの本当の狙いと米保険業界の野望を分析し、これから予想される日本政府の対応と日本の保険・共済の将来を考える。(東谷記)



呼びかけ団体: 兵庫県知的障害者施設利用者互助会・兵庫県勤労者山岳連盟・兵庫県民主医療機関連合会・兵庫県保険医協会・兵庫県商工団体連合会・兵庫県労働組合総連合・兵庫県労働共済会・全教兵庫教職員共済会

(切り取らずに送信ください)

【FAX返信】(参加申込) 078-393-1802 宛

兵庫県保険医協会共済部 行

●6月27日(木)「自主共済懇話会講演会」に、
出席します 約 () 人

※資料準備の都合上、おおよその参加人数をお知らせください。

団体名、または、お住まいの地区名

お名前

兵庫県保険医協会

尼崎支部ニュース

344号

2013年5月25日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック内
兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

在宅医療点数研究会

活発な意見交換で理解深まる

尼崎支部は4月20日、市立中小企業センターで在宅医療点数研究会を開催し、会員・医療スタッフら30人が参加した。

綿谷茂樹副支部長が講師を担当し、テキスト「在宅医療点数の手引き2012年度改定版」を用いて在宅医療における点数算定のポイントを解説。往診と訪問診療の違いなどの基本から、訪問診療料等の「同一建物居住者」や「同一患者」の複雑な取り扱い、在宅で処置を行う場合に注意が必要な「在宅寝たきり患者処置指導管理料」と「在宅時医学総合管理料」との関係まで丁寧に触れた。



綿谷副支部長が講師を担当した

参加者からは、「在宅患者訪問診療料」のターミナルケア加算の算定要件や「在宅がん医療総合診療料」における訪問看護ステーションとの費用分配などに関する質問が出されるなど意見交換が行われた。

支部会員の先生方へ

未入会のお知り合いの先生、ご子弟に入会を是非おすすめください

保険医協会は県下で7,000人以上の医師・歯科医師が入会し、開業医が安心して診療に打ち込めるよう支えあう、開業医自身がつくる団体です。医学の進歩と医療技術の向上、変化する医療制度への対応、怪我や病気など万が一の時の備えなど、開業医の診療、経営、生活を全面的にサポートします。勤務医の先生も県下で1,200人を超える先生方にご利用いただいております。

協会未入会のお知り合いの先生、ご子弟に是非、入会をおすすめください。



「サポート力」
いちばん身近に
いちばん親身に

アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会

終わらないアスベスト被害にご支援を

尼崎市で中皮腫による死亡が急増

2011年に43人

3月31日付神戸新聞(右に掲載)によると、尼崎市内で2011年の1年間で43人もの住民が中皮腫で死亡したことが判明した。02年以降10年までは13人から29人で推移したが、11年は急増、市当局も「重く受け止めている」とコメントしている。

一方、クボタは5月10日に今年3月31日までに248人の市民に救済金を支払ったこと、同社元従業員の石綿疾病患者状況は184人(うち死亡163人)であることを発表した。

クボタはアスベスト被害の責任を認めず、被害者に謝罪をしていない。クボタが認めた市民にだけ「救済金」を支払っており、この数は被害者の一部にすぎない。

アスベスト裁判(労災型)第18回弁論で、クボタの責任を追及

尼崎クボタアスベスト裁判(労災型)の第18回弁論が5月8日、神戸地裁で開かれた。労災型の裁判は、クボタの下請け会社で働いていた労働者らへのクボタの加害責任とアスベストの危険性を知らながら法的規制を怠った国の責任を問うもの。

責任を認めないクボタに対して、今回の弁論で原告弁護団は、「飛散対策の進展や石綿使用量

14版 (明治31年2月12日第3種郵便物認可)

尼崎で中皮腫死亡6割増

11年、専門家「原因調査を」

尼崎市で、2011年アスベスト(石綿)による中皮腫で死亡した人が前年の26人から43人へと急増した。国は、中皮腫による死者数を1995年から集計している。同市が市内で05年のクボタシヨ

11年の全国の死者数は1258人(前年の1209人から49人(4%)増)と増えている。石綿を吸ったこととの調査

兵庫県全体では1222人から1177人に減り、県内における同市の死者数の割合は約2割から約4割と倍増した。急増について、同市保健衛生センターの飯田浩事務局長は「減ることを願う運動している者にとっ

アスベスト被害に詳しい東京工業大学の村山武彦教授(リスク管理論)は「今回の増え方は過去の増減よりも極めて変化が大きく、早急原因を調査すべきだ」と話

(霍見真一郎)

年	死亡者数(人)
2004	800
2005	850
2006	900
2007	950
2008	1000
2009	1050
2010	1100
2011	1258

年	死亡者数(人)
2004	13
2005	13
2006	13
2007	13
2008	13
2009	29
2010	26
2011	43

アスベストの会 今後の裁判と宣伝行動の予定

- <労災型> 7月17日(水) 14:00 神戸地方裁判所 203号法廷
- <環境型> 7月3日(水) 14:30 大阪高等裁判所 202号大法廷
- <宣伝行動> 5月25日(土) 11:00 千鳥屋杭瀬本町店前

引き続き署名等のご協力よろしくお願いたします。

の推移から見ても敷地外への飛散は容易に推認できる」と述べ、また工場内でのばく露が問題なのであり、どこまで飛散していたかが深刻な問題ではないなどと主張した。



「国・クボタは加害責任を認めよ」と、裁判所に向かう原告と支援者

アスベスト署名にご協力下さい

保険医協会尼崎支部も加盟する「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」では、大阪高裁での環境型裁判で、公正な判決を求める署名運動をすすめている。ご協力いただける先生は協会事務局までご一報下さい。電話078-393-1801。

—保険医協会尼崎支部総会のご案内—

日時 7月20日(土) 14:30~17:00
 会場 サンシビック尼崎・中央地区会館
 参加費 無料
 ※ジェネリック医薬品をテーマに市民企画を予定しています(詳細は次号にて案内予定)。

第472回幹事会だより

4月26日(金)於 阪急園田「王府楼」 参加:7人

- 尼崎支部の会員数と組織率
4/25現在 医科381人、歯科137人
- 医療をめぐる情勢と運動対策
評議員会の発言や支部総会の企画、診療報酬改定研究会などについて意見交換した。
- 当面の支部活動
5月14日金楽寺住宅健康教室、5月25日職員接遇研究会など
- 次回の幹事会
次回は5月24日阪急武庫之荘「千石寿司」で開催。

お問い合わせはTEL 078-393-1805 長澤まで

◆支部担当事務局が交代しました。(2013年4月~)

「お世話になりました」 退任:有本
 「よろしくご指導下さい」 着任:山下
 留任:長澤、荒川、石本